

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年01月23日

計画の名称	碧南市における安全・安心な下水道整備の推進（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和03年度（2年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	碧南市												
計画の目標	持続的な下水道機能の確保を図り、安全・安心な生活基盤を実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	192	A	192	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R02当初)	中間目標値	最終目標値 (R03末)
1	主要な施設の長寿命化対策実施率を、0%（R02当初）から44%（R03末）に増加させる。 下水道施設における長寿命化対策実施率 長寿命化対策実施済設備数（基） / 長寿命化対策実施対象設備数（基）	0%	%	44%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	ポンプ場	改築	大浜権現中継ポンプ場	改築 ポンプ、電気設備	碧南市						192		策定済
ストックマネジメント計画																			
											小計						192		
											合計						192		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	9				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	9				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	9				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 碧南市における安全・安心な下水道整備の推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 上位計画と整合している。上位計画（知多湾等流域別下水道整備総合計画、碧南市污水適正処理構想）	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 碧南市公共下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 3) 各種事業計画が策定され適合している。各種事業計画（碧南市下水道ストックマネジメント計画）	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 4) 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○